

「X線応力測定法標準 - 鉄鋼編 - 2002年版」の修正内容

社団法人 日本材料学会  
X線材料強度部門委員会

この度、「X線応力測定法標準 - 鉄鋼編 - 2002年版」を増刷し、「平成16年12月20日初刷第二刷」として発行いたしました。これを機会に、平成14年3月20日発行の初版第一刷に対して、以下のように、9箇所の修正を行いましたので、ご報告いたします。お手数ですが、お手元の標準をご修正いただきますようお願い申し上げます。

1. i ページ 現所属を追記

佐々木敏彦 (2004年4月1日現在 金沢大学大学院自然科学研究科システム創生科学専攻)  
秋田 貢一 (2004年4月1日現在 武蔵工業大学工学部機械システム工学科)  
大城戸 忍 (2004年4月1日現在 (株)日立製作所日立研究所)  
鈴木 賢治 (2004年4月1日現在 新潟大学教育人間科学部生活環境学科)  
前田 喜久男 (2004年4月1日現在 NTN(株)総合技術研究所基礎技術研究部)

2. 8 ページ 2.3.2 節 (1) 一定法の2行目

誤：一定角度ずつ  
正：等速度で

3. 10 ページ 式(2.8)の下の文

誤：なお、- 測定の場合は、式(2.7),(2.8)の右辺第2項の符号が正となる<sup>11</sup>。  
正：なお、- 測定の場合は、式(2.7),(2.8)の代わりに式(6.35), (6.36)を用いる<sup>11</sup>。

4. 15 ページ 2.7.3 節

誤：1000counts 程度以上  
正：1000counts 以上

5. 15 ページ 2.7.4 節

誤：「それぞれの 角で測定した回折強度曲線よりピーク位置2 を求め」  
正：「それぞれの 角で測定した回折強度曲線にローレンツかたより因子補正、および、並傾法では吸収因子補正を行った上で、ピーク位置2 を求め」

6. 36 ページ 式(6.29)

誤：arctan  
正： $\tan^{-1}$

7. 40 ページ 式(6.35)

誤： $(90^\circ + \theta - \alpha)$   
正： $(\theta - 90^\circ + \alpha)$

8 . 45 ページ 6.7.3 節

誤：1000counts 程度以上

正：1000counts 以上

9 . 最終ページ 増刷版であることの表記

増刷版は「平成 16 年 12 月 20 日初刷第二刷 発行」として扱うこととし、最終ページにそれを表記しました。また、増刷版の定価表示は税込みで「定価 2,100 円」となります。

以上